

国防は最大の
福祉である
高橋季義

國の支之

(故中井信夫元大阪府議会議長・95才)

関西防衛を支える会
(略称・関防会)
〒542-0081
大阪市中央区南船場3-11-10
心斎橋大陽ビル7階
TEL 06-6241-1124
発行人 高橋季義
編集人 新川貞敏
印刷所 (株)新聞印刷

第27号
(夏季号)
平成18年7月1日(土)
(皇紀2666年)
(大正紀元95年)
(昭和紀元81年)

第8回定時総会開催

国防意識をさらに高めよう

平成十八年五月二十七日、午後四時より、ラマダンホテルオオサカに於いて第八回定時総会が開催された。百余名の出席者を得て、国家斉唱などの国民儀礼に始まり、議案を承認して終了した。また記念講演は渡邊元中郎方面総監がイラク派遣について熱弁を奮われた。講演要旨を御参照下さい。



挨拶する高橋会長

今日は終戦の歴史を再認識しておきたい。我が国が戦争に敗れて後、昭和二十七年四月二十八日にサンフランシスコ平和条約が発効したが、実際はこの日まで連合国側と戦闘状態が継続していたのである。この事を関西防衛を支える会の皆さんは歴史的事実として再確認して貰いたい。昨年総会のメッセージで訴えた通り、国連は今日に至るも「敵国条項」を残したままロシア、中国の反対により

放置されている。何故、常任理事国でもない日本が米である。何百年に亘る白人のアジア侵略から大東亜共栄圏を守り有色人種差別化

国会決議を尊重せよ

会長 高橋 季義

我が国は天皇の大御心の御統御の下、東洋平和のなを築き上げた。昭和十一年十一月二十六日にハル

パール判事が東京裁判(極東国際軍事裁判)で「こん

人達を戦後、どう扱ってき

「国内法では戦犯はあり得

和二十八年当時は国会議員

ありマスコミである。大切な事は人間は命を

防衛講話



渡邊 元日
(前中部方面総監・陸将)

ただ今、御紹介頂きました渡邊でございます。本日、関西防衛を支える会の第八回総会にお招き頂きまして、誠に有り難うございます。私は昨年の七月まで二年三ヶ月ほど中部方面総監をしておりまして、その間には勿論国内の仕事もありませんが、東チモールとか、イラク等にも隊員の激励に行っていました。

で、それについて現地に派遣された隊員の苦勞や注意している点をお話しさせていただきます。(註・六月二〇日、小泉総理はイラクから撤退を発表した。七月中には撤退するであろう)

本格的活動への準備期間

イラク派遣について

要旨

要をお話ししたいと思います。今日は現職の方も沢山来て居ますので、多少ホラを吹きたったのですが、できませんね。もし間違っていたら現職の方に訂正して貰います。統合運用に関しては、今日ここに空の幹部候補生学校長(航空自衛隊・奈良)が来ていますけれど、彼も私と一緒に統合運用の立ち上げを討議苦勞した仲間です。

は認識しています。隊員は群長以下、よく頑張っていますが、やはり緊張感が顔から滲み出ています。特に群長は最高責任者としての御苦勞が多かったのだらう、と思っています。

現地雇用主体へ医療につきましても、直接診療することでは無く、現

防衛講話

イラク派遣について

1面から続く

地のお医者さんの技術面での指導とか、それからODAで貸与された、或いは与えられた医療器械の取扱要領などを主体にやっている訳です。

給水につきましても当初は陸上自衛隊が実際に運河から水を引き、それを浄水して給水車に配っていたのですが、昨年の三月以降は現地にODAで供与された大型の浄水装置を使って、現地の人が自ら給水をしています。また、施設などの復旧整備につきましても、四次群以降は本格的に連日一〇箇所で

防衛講話

イラク派遣について

丸刈りが得意なイラクの散髪屋

丸刈りが得意なイラクの散髪屋。こいつは生活の中で当然にイラクの人達と一緒に勤務しています。中日新聞が第五群の活動状況や隊員の声など連載していたものをまとめた本として出版されていますが、その中にイラク人の散髪屋の事が載っています。基本的には隊員相互で刈りあっているのですが、なかにはサマワの宿営地内の散髪屋に行く隊員もあります。そこでどんな形が出来るのかと聞くと「調髪・スポーツ刈り・Gカット・丸刈り」と云うので、何が得意だと聞くと「丸刈り」と云うこと、それでは丸刈りにしてもおろつと頼んだ等の話が載っています。警備は、昼間はイラクの人達と一緒にしているのですが、イラク人はなかなか仕事をしないのでと云うイメージがあったのですが、彼らは教えるのと同じくらいと勤務しているようです。

中東特有の厳しい気候・風土。サマワと言つ場所は鹿児島県と同等の緯度に位置し、また地形的には山岳地帯・平原地帯・砂漠地帯と云うように分けられるのですが、自衛隊は平原地帯に入っている事になります。平原地帯と云うよりも砂漠地帯に近い、と云う感想を持っています。

自衛隊の宿営地はサマワから若干南西の方向にあり、ユーフラテス河から引張って来ている灌漑水路があります。このほりに宿営地を作って活動しています。砂漠と云うか土漠と云うのかと云う感じの所です。サマワの平均気温ですが冬は零下二〇度になり、夏場になりますと四〇度、五〇度になる酷暑な気候ですが、現地は春先に雨が降ります。この雨は雨が集中的に降ると豪雨になるので、宿営地まで水に浸かるようになります。

衛生支援。給水と医療、公共施設の建設修理を三つの柱としてやっているのですが、外務省のODAと云う形で支援どうまく噛み合わせる事が大切だと思います。医療支援なんです。イラクのニーズを踏まえて外務省ODA供与と協力して支援すると云う形になっています。

気温が上昇して来ると、土漠と云うか、粒子の細かい砂が舞い上がり、いわゆる砂嵐が吹き荒れます。気温が上がれば、当然乾燥しますから、水分補給をしないと、脱水症状をおこし、唇が乾燥して割れると云うような事になります。

当然、郷に入れば郷に従えと云う事で飲んではいけないのですが、初代の群長の番匠君が、それではやっぱり可哀想だ、と云う事でせめて湯上がりの時くらいはビールもどきの「ノンアルコール」のビールを一人一日一本として許可して、私も湯上がりに貴重な缶ビールを戴きました。ただ正直なところ私は美味しいとは思いませんでした。と云うのも、その直前まで日本のビールを飲んでいたので。しかし一月も経つと、ああ云う泡の出る小麦色の飲み物と云うのは彼らに取っては貴重なものだろうと理解はしました。

DAでイラク国内に二三の病院を作ったのですが、これらが現在ほとんど荒廃して、その復旧のため我が国もやはりきちんとしなければならぬのでは、と感じます。

他国籍軍との調整

私なりに分析しますと、本活動の特性は大きく三つくらいになるのかな、と思います。ひとつはPKOと云う国連の枠組みから外れた初めての海外活動であること。平成四年以来、一四年間自衛隊は海外で活動してきましたが、今回のイラク派遣は本当に、現地でいろいろな物を調達し、そして他国から来た軍隊とも調整をしながら立ち上げて行つた最初の活動ではないかと思えます。

それから二つ目は、イスラム教圏の活動と云う事です。世界の人口六十億の内、イスラム圏はそのうちの五分の一の二・三億ぐらいの人口であること云う事を考えると、その意味では幸か不幸か、我々はあまりイスラムの人達と付き合つてこなかったのではないかと。そう云う意味で長期間イスラムの人達と付き合う活動であった事は貴重な経験です。

イスラム教徒は自尊心の強い人達であり、良く知られることは、豚肉は食べない、と云う厳格な教義があります。食肉の処理にしても厳密な定義があり、彼らはその定義により処理された肉しか食べません。

後方支援組織の確保。今回、初めて自前の後方支援組織を確保した事も特筆すべき事です。復興業務支援隊と云う組織を編成し、さらにクウェートに分遣班という形で実際に後方支援をやる部署を常設したことです。これは盲腸みたいに控え目に語られますが、非常に重要な部隊です。例えば野菜などの調達から仕事に使う資材の調達まで現地の人達を交えてやる訳です。この業務支援隊の人達は非常に苦勞しながら本隊を支えています。このような組織を確保出来た事は今後の海外活動に大きな威力を発揮するでしょう。

隊員の安全確保と留守家族の支援。隊員の安全確保の徹底は任務の実施に必要不可欠であります。安全は建前は自分達でやらなければならぬのですが初めての事も、任務(医療・給水・施設復旧)の遂行に適した襲撃が少なく、今後比較的安定していると考えられるサマワを中心とする地域を活動地域に選定したのです。また当然ながら活動は単独行動にならないように警備の部隊をつけて活動していました。結果として非常に良い所を選んだ、と云う感じを持っています。

それから三つ目は、派遣当初に云つたら怒られたかも知れませんが、現地の隊員が安全に活動することでした。隊員が安全で無事に活動する事は非常に良い状況にあったからです。これは今回の任務遂行の一番大事なところでした。この事項を重視して事前訓練も十分にやってきました。(註・渡邊氏は法制の不備による事は語らない)

米軍とは、特に在日米軍司令部とはイラク戦争直後から緊密に調整をしていましたし、作戦を担当している米中央軍の司令部はアメリカのフロリダ州のタンパにありますが、当初は今日お出での幹部候補生学校長(航空自衛隊・奈良)に、統幕から連絡係みたいな形でタンパに行ってもらっていました。その後は外務省ともきちっと調整をして二名の正副の連絡将校を派遣して情報を得ていました。

宿営地の安全強化

宿営地の安全強化。宿営地の隊員は夜間にトイレに行く時も防弾チョッキと鉄カブトを必ず着けていましたが、その苦勞を共有しましたが不便ですね、特に私はトイレが近いのですから。

宿営地の中の安全性の強化は当然ですが、やはり外をしっかりと守らなくてはならない、と云う事で夜間も含めていろいろな監視機材を配置して二四時間態勢を取っていました。

宿営地近傍を監視する、と云う事もやりました。以上のような事をやりましたが、何と云ってもイラクの人達との信頼関係の構築が大事です。歴代の群長が意を用いて来ましたが、初代の番匠群長が「近所プロジェクト」と称して、自衛隊は素晴らしい、と感じて貰う為に始めた音楽演奏があります。義理・人情・浪花節、と云うことで「GNZバンド」の演奏です。

日本文化の紹介で、柔道とか居合道、剣道あたりも紹介しています。和太鼓の演奏とかサッカーボールの贈呈など隊員と子供の交流なども図っていました。

今までの一人の怪我もなく現地で仕事が出来たのも、幸運だと言われますが、現地の人達との交流を深めた群長以下、真剣に自分達の安全を守るという隊員の努力が大きいと思います。それと、イラクの人達と一緒に復興しよう、一緒に汗を流そうと云う気持ちが伝わり、それが大きく心理的支えとして働いているのではないかと思います。

それから留守家族の人達をしっかりと支え、その心配を少しでも軽減する事に注いでいました。それで現地と家族の連絡も、携帯電話もありますがテレビ電話で顔を見ながら話が出来ると云うようにやりました。

派遣前の教育訓練の徹底。それと、派遣前の教育訓練です。これは出来る限りしっかりとやりました。先方の文化や言語を教育し、更に射撃訓練それから部隊訓練、出発間際には総合訓練です。射撃訓練も拳銃射撃と小銃射撃は近場でと云う時に自然に体が反応する、と云うくらいまで訓練しました。現地では当然、実弾を装填して外出しますので、帰って来たときに暴発する恐れがあります。宿営地に帰って来たら、必ず弾を抜く、と云う動作を習慣化する必要がある。そこで国内に居る時からこのような訓練もしました。

半世紀の蓄積

私は一昨年、東チモールにも行って来ました。そこにはバングラディッシュや韓国の人達も入っていました。やはり日本人が一番素晴らしいと言っていました。それ

隊員の選定と家族への支援ですが、我々は自衛隊ですから、部隊単位で行くのが基本だろと云う事で選定しました。従って部隊単位で行く時は中隊長なり小隊長の人達が隊員の心情なり家族構成、或いはその気持ち、と云うものをしっかりと把握して選定するように指導し

隊員の安全確保と留守家族の支援。隊員の安全確保の徹底は任務の実施に必要不可欠であります。安全は建前は自分達でやらなければならぬのですが初めての事も、任務(医療・給水・施設復旧)の遂行に適した襲撃が少なく、今後比較的安定していると考えられるサマワを中心とする地域を活動地域に選定したのです。また当然ながら活動は単独行動にならないように警備の部隊をつけて活動していました。結果として非常に良い所を選んだ、と云う感じを持っています。

隊員の選定と家族への支援ですが、我々は自衛隊ですから、部隊単位で行くのが基本だろと云う事で選定しました。従って部隊単位で行く時は中隊長なり小隊長の人達が隊員の心情なり家族構成、或いはその気持ち、と云うものをしっかりと把握して選定するように指導し

隊員の選定と家族への支援ですが、我々は自衛隊ですから、部隊単位で行くのが基本だろと云う事で選定しました。従って部隊単位で行く時は中隊長なり小隊長の人達が隊員の心情なり家族構成、或いはその気持ち、と云うものをしっかりと把握して選定するように指導し



支え

えてきました。その他に毒蜘蛛とか、また毒のある植物などが近くにあり、このような非常に厳しい自然環境の中で勤務しています。

禁断の湯上がりビール?

駐屯地には食堂、売店、風呂、マッサージマシン、トレーニングジムなどがあり、厳しい勤務中での生活環境の改善が計られていますが、やはり中東と云う地域に配慮したものが多々あります。

あそこはイスラム教の世界ですのでお酒は飲めませ

してこそと云うのですか
彼らも結構ブライドを持
っているんだな、と感
じます。それと臨床指導
だとか検査の技術指導ま
たナースが行っておりま
すが看護に対しても指導
しているそうです。
八十年代に外務省が



国防は最大の福祉

第8回定時総会スナップ



挨拶する西村代議士



閉会挨拶する濱野副会長



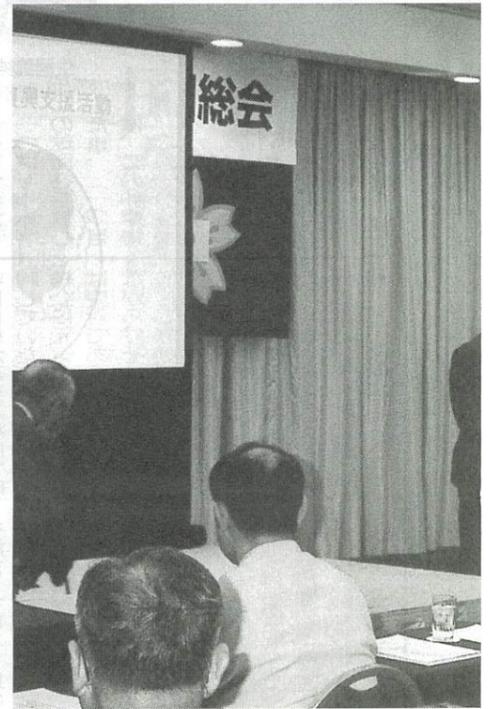
司会の田中西宮市議員



松田理事、渡邊総監と前田事務局長



阪基の渡邊科長へ感謝状贈呈



渡邊総監と談笑する西村代議士



第三師団長代理、副師団長陸将補・川口
洋市氏元氣よく乾杯の音頭の後の一飲

ました

NHKだったとおもいますが、去年の春先、出発する東北方面隊の隊員や家族にインタビューしていました。私は非常に良かったなと思えました。当然、隊員や家族は現地は危険だと思っている訳です。しかし、聞かれた隊員や家族は「任務を命じられた以上現地でしっかり頑張りたい」と答えています。それは、やはり我々自衛官の心映えと云うか、気持ちだなあと感じました。

に何かと言ふと、日本人と一緒に仕事をして、場合によっては一緒に食事をしてくれるんだ、と言ふ事を聞きました。イラクでも同じような状況を自にしました。戦後に自衛隊が出来てから、五十年以上経ちました。この間、諸先輩方の御苦労、御尽力により、隊員の中に、謙虚さや一生懸命に与えられた任務を遂行する精神が根付いていて、それが国外に出て行っても現地の人達に共感を呼んでいるんじゃないか、と強く感じました。

(文責・新川)

年会費納入のお願い

当会の会計年度は4月より3月末です
(1月1日より3月末、入会の方は翌年度会費扱い)

- 法人会費 二万円
- 維持会費 一万円
- 普通会費 二千元

いずれも一口

会費は左記へ

【郵便振替口座】

〇〇九六〇・二・二二七三〇五

口座名・関西防衛を支える会

【銀行口座】

三井住友銀行 守口支店

普通 一六二一三二四

口座名 関西防衛を支える会

去る六月十日、大阪・生國魂神社に於いて元海上自衛隊員地方總監の仲摩徹也氏(防大10期)の防衛講話が「大和心の集い」の主催で開催された。(写真参照)氏は現在、(株)阪急ホテルの支配人であり、関西水交会理事長でもある(会長は阪急の総帥小林公平氏・海兵七五期)。

講話要旨はつぎの通り。

厚木基地で二千名の隊員の司令をしながら、隊員数二百名の阪神基地へ転勤を命じられ左遷かと文句を言ったのですが、それ以来、関西に馴染みになりました。それが阪神大震災に遭遇し基地の液化現象などの得難い経験をしました。

三十四年間の自衛官勤務の初期は八戸で対潜哨戒機P2Vに乗り回後などのソ連国境の哨戒飛行をしていて、国境に近づくとソ連の戦闘機が上がってくるのが見えました。

また、竹島にも行くと、言われていたが、日本の領土なのに何故行って悪いのか、と接近すると韓国は日本の外務省に連絡し、外務省から防衛庁に文句を言ってくるのです。尖閣諸島も同様でした。沖ノ鳥島も同じく、外務省の役人はこれらの日本の領土を視たことがないのです。誘っても誰も来ませんでしたね、どこの國の外務省かと言いたいですね。

今回の竹島の調査は、実行すれば良かった。現状の不法占拠は上陸作戦でもやらない限り奪還できませんよ。世界の領土問題で話し合いで帰ってきたのは沖繩だけです。

政治家は軍隊の使い方を知らない、宝の持ち腐れである。米國も自衛隊の力が無ければ列島ラインの機動部隊や空母を守れないのです。海上自衛隊は帝國海軍の伝統を寸分違わず受け継いでいます、だから今でも米國海軍は海上自衛隊を大事に考えているのです。

能登半島沖の不審船事件(山本安正海幕長当時・平成十三年)は捕獲せよと命令されていたが、出来なかった。監督を阪急グループに役員として迎えた事。この二つは本人に褒めておいたと。

防衛講話 — 「大和心の集い」

元海上自衛隊員地方總監 仲摩徹也氏(防大10期)



生國魂神社に於て講演する仲摩元海將(平成18年6月10日)



アメリカ総領事館5階で催されたマイケル・マックデビット退役、海軍少將の講演で関防会役員(4月18日)

のに表彰されたのです。私は、それはおかしいと指摘しました。中国の原子力潜水艦が我が國の領海を侵犯しました。潜水艦は一隻では機能しませんから現状では、それほど脅威ではありません。彼の國に哨戒能力は無く、台湾進攻は不可能と思えます。兵器の國産は國家にとつて非常に大事です、輸入に頼れば、いざ鎌倉の時に生命を制せられず。これは歴史に露です。また兵器製造の裾野は三千社以上あり一大公共事業に匹敵します。政治家も外務官僚も軍隊の使い方をも十分に勉強して欲しいものです。

※小会の会長・高橋が挨拶の中で「阪急の小林公平君は良いことを二つした。一つは万年赤字の球団を手放した事。二つ目は、この仲摩提督を阪急グループに役員として迎えた事。この二つは本人に褒めておいたと。」

予定時間を大幅に超過する憂國の熱弁を振るい、会長挨拶を要約するに苦勞した。しかしその内容は時系列で年月日を詳細に語っており、恒久保存すべき値打

ちがあるが紙面の都合で全文を紹介出来ないのが残念。*渡邊總監の現役時代を遠くで垣間見て、良く云えば三軍を叱咤する猛将に、悪く云えば傲岸不遜な將軍に見えたが、今回の講演を聞き組織緻密の人物である事を知った。自衛隊五十年の歴史に深甚な感謝を述べると共に、将来へ望みと期待を込めている。氏の講話を三分の一に要約した事を乞う御海容。

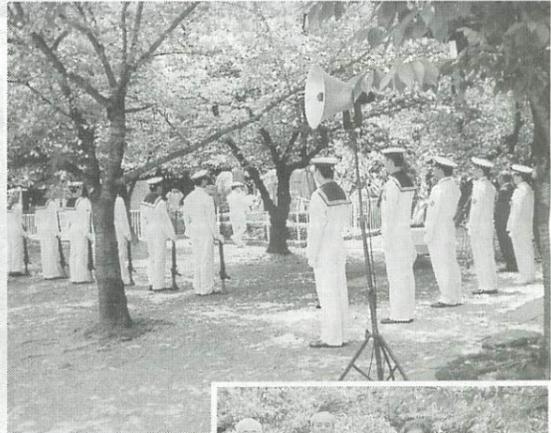
クソンが白人を裁く場合と有色人種を裁く場合に、その判断の根底に大きな違いがあるのではないかと推測している。横文字が読めないで、「ニュールンベルグ裁判」は知らないが、同じキリスト教徒の白人同士である。側愾の情が動かない、人々を信じて騙されて、よく言えばアホですわ。弁護士はベケでよい、しかし天職である政治家生活をまっとうさせてやりたい。弁護士費用はロハですわ、それでも百名を超える弁護士が集まって来るんです。ロハで大変な時間を割いて応援に集まるんですわ。私は今度、弁護団を離れて証人になりますわ」とユーモラスに語っていた。(新川)

クソンが白人を裁く場合と有色人種を裁く場合に、その判断の根底に大きな違いがあるのではないかと推測している。横文字が読めないで、「ニュールンベルグ裁判」は知らないが、同じキリスト教徒の白人同士である。側愾の情が動かない、人々を信じて騙されて、よく言えばアホですわ。弁護士はベケでよい、しかし天職である政治家生活をまっとうさせてやりたい。弁護士費用はロハですわ、それでも百名を超える弁護士が集まって来るんです。ロハで大変な時間を割いて応援に集まるんですわ。私は今度、弁護団を離れて証人になりますわ」とユーモラスに語っていた。(新川)

編集後記



大阪神社に於て、約300名の聴衆の前で東條由布子さんと公開対談する高橋会長(H.18.6.24)



大阪護國神社で水交会主催慰靈祭(左から長田、森、山下、飯田の各理事と会長夫人)(H.18.5.28)



阪神基地司令・志賀洋介海將補の講話を聞く(H.18.6.24)

活動スナップ



海上自衛隊阪神基地掃海艇「つしま」体験航海に参加の関防会員(H.18.6.24)

陸上自衛隊、中部方面航空隊八尾駐屯地納涼祭

日時 平成18年8月3日(土)18:00より(花火は20:00頃より)
場所 大阪府八尾市空港1-81 ※お問合せ (JR志紀駅下車) ※広報室TEL0729-49-5131(内線228)

死んでたまるか!!
田幸教授(琉球大)開発の特許商品!!
沖縄モズクと北海道産真昆布ガニアシの純粋フコイダンをダブルで配合!!
生活習慣病が気になる方に…

Fucoidan Z
フコイダンゼット

【フコイダンZ】150粒(25~50日分)25,000円
お試し用30粒入り2,000円とお徳用350粒入り50,000円もあります。

Beauty Health Laboratory
株式会社 若鳩

〒553-0006 大阪市福島区吉野4-19-10
TEL(06)6462-5820 FAX(06)6462-5824
携帯・PC共通 http://bh-labo.net

自衛隊広報誌
広告掲載企業募集

取扱い媒体
中部方面隊広報誌 やましろ
第10師団広報誌 金蔵
第3師団広報誌 錦城
第13旅団広報誌 みつや

自衛隊「広報室」編集広報誌取扱
株式会社 若鳩

本社
〒570-0032大阪府守口市菊水通2-19-1菊水ニビル
TEL(06)6993-0099

支社
〒530-0028大阪市北区万歳町4-12滝速ビル西館401-B号
TEL(06)6362-0888
FAX(06)6362-3591